

# 関東・東北豪雨水害

～東京の生協で力を合わせて～

# 被災地支援活動通信 No.3

発行日:2015年11月9日 発行:東京都生活協同組合連合会 竹内 誠(専務理事)

東京都新宿区北新宿 4-8-16 北新宿君嶋ビル 8階 電話:03-6844-3563 <http://www.coop-toren.or.jp/>

焼き鳥「鳥茂」さんの駐車場をお借りしてのサロン活動も3回目となりました。

11月3日(火・祝) 晴れ 喫茶参加者52名。

東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)『関東・東北豪雨水害被災地支援プログラム』の3回目が実施されました。

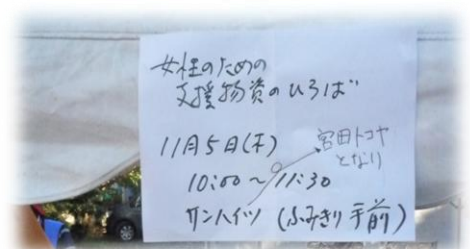
ボランティア参加者は14名(うち生協関係者6名)。10月30日(金)の第2回目が想定外の参加者数だったこともあり、どのくらいの住民の方が参加されるかわからなかったのですが、参加者数が多くて混乱するということはありませんでした。

第1回、第2回目に参加して下さった住民の方も数多く参加して下さり、少しずつですが定着してきている様子が見えかけました。年配の参加者が多く、親子連れで参加して下さる方も多く、子ども向けに風船などを用意して喜ばれました。



喫茶参加者からは、「大きな被災をしていないから参加しにくかったけど、近所の方に声をかけてもらって今日来てみたんだ・・・」、「子どもを連れてきてもいいですか」、「誘ってもらったんだけど、本当にこういうのはいいね。屋外でやるのは気持ちがいいよ」、「わたしはもちろんだけど、家の娘も楽しみにしてるんだよ」、「オーソドックスなホットケーキもいいけど、ホットケーキを使って他にメニューが増えたら楽しいね」、「気持ちよく話せたよ。ありがとう」、他にもたくさんの声をいただきました。まだまだ先が見えずに不安の中で暮らされているというお話もされる方もいらっしゃいました。

「鳥茂」さん駐車場で3回目の開催となり、少しずつこの活動が受け入れられてきたと感じられました。



地域ボランティアによる、女性のための支援物資の案内もされていました。

**今後の活動予定** 常総市社協の職員の方が訪れて下さり、このようなサロンを社協でも検討していることや、今後も様子を見に来ること、今後も情報交換をしていくということです。また、常総市水海道地区での炊き出しやサロン開催の調整等をしている「NPO連絡会議(事務局:JUNTOS)」から、橋本町の南側にある諏訪町や天満町でのサロンの開催依頼をいただき、東災ボで検討していくことになっています。

11月6日(金)からは新たに、常総市水海道橋本町「八間堀住宅集会所」でのサロン活動を行います。

- ・11月10日(火) 常総市水海道橋本町「鳥茂さん駐車場」でのサロン活動
- ・11月13日(金) 常総市水海道橋本町「八間堀住宅集会所」でのサロン活動
- ・11月17日(火) 常総市水海道橋本町「鳥茂さん駐車場」でのサロン活動

## 活動場所

常総市水海道地区(橋本町周辺)

※資材置き場から、やきとり鳥茂までは徒歩約3分・八間堀団地集会所までは徒歩約7分



## 生協ボランティア参加者からの報告

ある程度回がすすむと信頼関係が構築でき、よりスムーズに進めることができるようになると思われます。また、ほぺたんのキャラクターが描かれているエプロンをつけて参加したことで「私もこの絵のコープに入っているの。コープはこんなことまでしてくれて、ほんとうにありがたい存在ね。」とお褒めをいただく場面もありました。 **コープみらい・大矢憲二さん**



生協ボランティアと東災ボ事務局長



近くの家を見ると1階部分が泥になっていたり川には流された後の残骸が残っていたり、と未だ厳しい現状が見て取れました。そんな中、私自身が被害にあった訳でもなくある意味よそ者がいきなり来て話してくれるかという不安がありましたが現地の方々はとても優しく現地の状況やご自身の心境などを話してくれました。また水害にあった方でバルシステムを利用されている方もいて『毎週届けてくれてありがとう』と感謝の言葉をいただいた時は目頭が熱くなりました。今回現地に行って本当によかったと思いましたし、行った者が職場の人に伝え、生協としてこういう活動が衰退していかない様にしていくことがすごく大切だと感じました。

**バルシステム東京・杉田雄平さん**



お茶会の呼び掛けのために、戸別訪問でチラシ巻きをおこないました。通りを車で走っているだけでは、通常の暮らしをしている町のように見えたが一軒一軒を徒歩でまわってみると、まだまだ大変な状況が多く見えました。チャイムが鳴らない(壊れたままの)家も多く、ガラス窓からうかがえる家の中の様子は、とてもまだ住めるような状況ではない世帯が多くありました。あちこちで、大工さんや設備屋さんが作業をしていましたが、ある住人の方は「業者さんの順番待ちで、自分の家の修理はいつになることやら」と話していました。お茶会の場には、50~60人の方が立ち寄り、ご近所さんや家族連れなど、それぞれが思い思いの会話で盛り上がり、楽しいひと時となったように感じました。でも現実には、まだ厳しい部分があるのだらうと思いました。 **東都生協・川中子良弘さん**



次回サロンのチラシまき



活動終了後のミーティング

今後テントに横幕を張り、中にストーブを置く予定です。活動参加にあたり防寒対策をお願いします。